



第151号
令和2年4月

編集発行
JA 広島ゆたか総務部

2月末実績

期首組合員数	5,142人
出資金額	5億4980万円
貯金残高	281億5093万円
貸付金	5億9934万円
供給高	9億9354万円

いつも当JAのご利用有難うございます。今後も役職員一同、誠心・誠意にいたしますので、今後ご利用のほどよろしくお願い致します。



各地区で「令和2年営農座談会」開催

2月に各地区で春の「営農座談会」が開催されました。生産指導方針をはじめ産地維持対策や異常気象における生産対策について説明を行いました。また、病害虫防除暦および注文農薬販売方策については、変更点を中心に説明を行い、防除の徹底を呼びかけました。



「はるか」出荷開始！！

令和元年産「はるか」の出荷が3月に開始となりました。初出荷には多くのマスコミが訪れ、選果の様子や農家生産者の作業風景の取材を行いました。大長地区担い手農家の山本晋也さんにご協力いただき、「工夫して生産した美味しい果実の売り込み」を披露していただきました。



春植え用「大苗」配付

2月下旬から3月上旬にかけて各地区で令和2年春植え用の「大苗」の配付を行いました。「大苗」は早期成園化を目的に当JAと広果連で育苗しました。レモンは4200本、いしじは1300本余りの配付を行い、今後、奨励品種の増産につながるものと期待されます。



なか面は作業指針

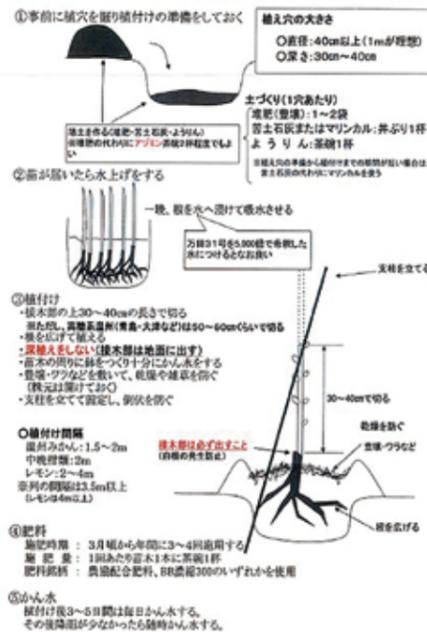
新規赴任技術員紹介

4月より赴任します広島果実連の秋光です。大長出身で、技術員になって23年目になります。これまでの経験を生かして農家所得増大や産地維持につなげられるよう努めてまいりますので、よろしくお願いします。



技術員 秋光 伸彦

カンキツ苗木の植え方(地植え)



「店頭販売」開催中！

大長選果場前、みかんあいランド店頭にて毎年10月から翌年4月まで、「かんきつの生果」を販売しております。最近では観光客も多く、大変にぎわっております。皆様もお誘いあわせてご来場下さい。なお、水曜日は定休日となっております。



ご存知ですか？
ローリングストック

JA 広島ゆたか

今月の名言

「目的地にまっすぐ行く道はない、ただどいつも目の前には道がある。」

福島 正伸

「人間ドック」を受診してみませんか？

「人間ドック」で詳しい検査を受けたいが、どこの病院で受診すればいいのかわからない、そういった方のために当JAよりご紹介という形で組合員の皆様にご案内いたします。

検診日: 令和2年4月9日(木)
(その他の日についても随時受け付けております)

場所: 尾道総合病院

受診料: 日帰りドック 38,500円(税込み)
がんドック(日帰り) 64,900円(税込み)
(いずれも組合員価格となっております)

4月9日に限り、尾道総合病院より送迎を予定しております。

(呉市内は安芸灘交流館、大崎上島町管内は竹原港より乗車予定としております。その他の日は直接行っていただくことになります)

〈主な検査内容〉

診察・身体計測・胃カメラ(又は胃X線)・腹部超音波検査・血液・肝機能・腎機能・脂質・糖・蛋白・炎症反応・循環器・視力・聴力・腫瘍マーカー(血液)・・・など

お近くの本所・支所(内浦、明石、中野)にてお申込み願います。

主な行事報告

2月25日 第11回 理事会
《報告事項》

- 1、令和元年度12月末決算概要について
- 2、自動車利用規程の一部変更について
- 3、店内検査の報告について
- 4、事務ミス等の報告について

- 5、荷受け・販売状況について
 - 6、県域統合JAの主要施策等の検討概要について
- その他

2月27日 共済推進会議(本所・中野)

なか面は作業指針

4月の柑橘園作業指針

J A広島ゆたか営農販売課

- ・樹勢回復のため、**施肥や液肥の葉面散布**を行いましょ！
- ・かいよう病が増加傾向です。レモンは収穫終了後に防除しましょ。

【1】3月肥（春肥）の施用

- 3月肥（春肥）の施用
 - 3月肥（春肥）を施用し、春芽の充実と幼果の初期生育を促しましょ**
 - まだ施用していない園地は早急に施用しましょ。**
 - * 施用量は3月肥（春肥）特報を参照
- 花肥の施用
 - 着花が多い樹は、蕾が見える頃養分補給を速やかにするため
 - 10aあたり **硫安 1袋（20kg）** を施用する

【2】葉面散布

樹勢維持、芽や花の生長促進のため、積極的に葉面散布を行いましょ。
 防除薬剤に混用散布し、1回でも多く散布しましょ
 （ICボルドー、サルファーズルとは混用しない）

散布資材・倍数	18ℓ(1斗)あたり	100ℓあたり
尿素 600倍	30g	166g
またはメリット青 500倍	36cc	200cc

【3】かいよう病防除

- かいよう病が増加している園地は、せん定を実施し薬剤防除を徹底する。（特にレモン）**
- ＜散布時期＞
- 発芽後の散布になる場合、ICボルドー66Dは8.0倍とし、必ず新梢の葉ヤケを防ぐためアビオンE1000倍を混用。
- ※レモンで樹上に果実がある場合は、収穫及びせん定後に散布する。
- ※春マシン油散布後、14日以上間隔をあけて散布する。（薬剤の付着量が減少するため）

散布薬剤・倍数	18ℓ(1斗)あたり	100ℓあたり
ICボルドー66D <u>8.0倍</u>	225g	1250g
アビオンE <u>1000倍</u>	18cc	100cc

【4】サビダニ・ホコリダニ・カメムシ類の防除

近年サビダニが増加している。
 越冬成虫防除のため、発芽期にサルファーズルを散布する
 散布時期：4月上旬頃（春芽が3mm程度発芽した時点）



【散布薬剤】

散布薬剤・倍数	18ℓ(1斗)あたり	100ℓあたり
アルバリン顆粒水溶剤 2000倍	9g	50g
サルファーズル 400倍	45cc	250cc

※サルファーズルはマシン油乳剤およびICボルドー散布後14日以上の間隔をあける

【5】ケムシ類の防除

被害防止のため発生状況に注意する



	散布薬剤・倍数	18ℓ(1斗)あたり	100ℓあたり
体長が1cm以内	ダズバン乳剤 1,000倍	18cc	100cc
体長が大きくなり多発した場合	フェニックスフロアブル 4,000倍	4.5cc	25cc

【6】せん定

- 温州みかん
 - 不作傾向の樹は花を確認してから行う。
 - 発芽量が多い場合は、花周辺の芽かきやかぶさり枝をせん除する（生理落果防止）
- レモン
 - 収穫後に速やかにせん定を行う。樹高短縮などの樹形改造に取り組む。
 - 昨年の夏秋梢は処理しておく。
 - かいよう病罹病枝は、多大な伝染源となるため、せん除する。
- 中晩柑類
 - 成品率向上のため、薬剤がかかりやすいよう、樹形を整える。

お問い合わせは 広果連技術員まで
 糸曾技師（上島地区担当） 090-7540-5754
 秋光技師（下島地区担当） 090-7540-5751